

## 2019年度第5回西日本放送番組審議会

開催年月日 2019年9月10日(火) 14:00~16:00  
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室  
委員の出欠 委員総数 8名  
出席委員数 6名

### 出席委員の氏名

|       |     |
|-------|-----|
| 高嶋克洋  | 委員長 |
| 鈴木森賢史 | 委員  |
| 森下聖史  | 委員  |
| 片岡雅子  | 委員  |
| 岡田佳子  | 委員  |
| 山崎達成  | 委員  |

### 欠席委員の氏名

|      |    |
|------|----|
| 佃昌道  | 委員 |
| 藤村晶彦 | 委員 |

### 社側の出席者

|      |              |
|------|--------------|
| 中村卓朗 | (代表取締役社長)    |
| 富永   | (取締役総務局長)    |
| 中川弘之 | (岡山本社中国総支社長) |
| 中尾寛  | (報道制作部長)     |
| 岡野哲士 | (報道制作)       |

### 事務局

|      |                 |
|------|-----------------|
| 和家剛  | (編成業務部長兼放送審議室長) |
| 香山豊宏 | (編成業務部兼放送審議室)   |
| 山本峰子 | (放送審議室)         |

## 2019年度第5回番組審議会議事次第

開催日 2019年9月10日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

### 〔議 事〕

議事進行 高嶋克洋委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

#### 1. 議 題 テレビ番組

『 知ってるようで知らない名所  
魅力増し増し！穴場トラベラーPART6 』

#### 2. 質疑応答

### 〔参考資料〕

- 月刊民放 9月
- 民間放送（新聞）9月3日

### 〔次回開催予定〕

開催日 2019年10月8日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

### 講 演

講 師 日本テレビ放送網株式会社  
報道局経済部長

藤井 潤 氏

演 題 『 未定 』

以上

### 【議事概要】

今回は、テレビ番組『知ってるようで知らない名所 魅力増し増し！穴場トラベラーPART 6』を視聴していただきました。委員の皆さまからは、レポーターの太川さんと村上さんは、それぞれに人柄の温かさが感じられ、2人を選ばれたのは成功だったと思う。事前に何らかの打ち合わせはあったと思うのですが、レポーターと地元の人たちとのやり取りは自然で、流れづくりに関しては地元放送局の面目躍如の感がある。全部に共通していることだが、買い物をしたときや、飲食をした後にお金を払っているシーンが5～6回でてきたが、これは取材を無理強いしていないということを言いたかったのかもしないが、あそこまで支払っている姿を見せなくてもいいような気もする。ひいき目にいうわけではないが、矢掛町が一番良かったと思う。レポーターはいつも太川さんと女性の方だが、女性は何となく素人っぽい感じの方を選ばれているような感じがする。今回の村上さんは明るくて、テレビの仕事を楽しんでいるような雰囲気があり、凄いなと改めて思った。ただ、彼女の「スゴイ」とか、「メチャクチャ」の言葉が気になる人が、いるかもしれないが、明るさで全てを押し切ってしまうような感じがあった。『穴場』のネーミングがとてもしっくりくる感じで、お店の人、風景、地域おこしや活性化など、そして時間軸が感じられたり、13世代続いてきたお店や、綾から子どもへ受け継がれていく商売、日本を超えて海外ともところどころ繋がったり等々、多様な形で番組が展開されていて、あっというまに時間が過ぎた。短時間の中でそれぞれの県がほぼ4カ所ずつ紹介されており、贅沢な番組だと思った。お店というよりも、人に焦点が当たっているようなところがあり、温かさが伝わってくるようだった。あと、お店の名前は出ていたが、地図があったほうがわかりやすいので、略図でいいので、あればよかったと思う。米子市の筒書き染や金魚ちょうちんの体験が紹介され、要予約とあったが、こちらも連絡先があったほうがよかったと思う。との意見がありました。

制作者からは、毎回各局でテーマを設けていますが、今回はとにかく人柄がメインでした。場所の選定は各局がある程度持ち寄ったものの中からバランスを考えながら、それぞれの4局で味わいを変えるように調整し、そこから各々取材ポイントを決め、実際に何度か街を歩き、面白そうな人を探しました。矢掛に関しての知識は殆どゼロに近かったのですが、丁度去年の豪雨のときに矢掛も結構被害に遭っており、大きな被害だったにも関わらずとても元気があったという話を担当ディレクターから聞いていたので、矢掛はどうだろうかということになったわけです。実はテンペのお母さんのところの工場も水害で大変だったらしいのですが、今回は大変だったことよりも元気で頑張っていることのほうを主に取材しました。お金を払うシーンですが、たしかに改めて見ると、多かったと思います。お金がさよならのきっかけになるので入れたわけですが、やはり目立つので次回は検討したいと思います。基本的には、従来からの旅グルメのような番組ではなく、できるだけそこから脱却するという考えで始まった番組ですが、事前に下調べはしていますが、タレントさんと町の人たちとは偶然出会ったような楽しい雰囲気を出すようと配慮しています。旨が述べられました。